

●直前になって「廃道を読む」の記事を書きました。聞き取り内容のメモがあったとはいえ、約1万字を数時間で書き上げられたのには我ながらびっくりです(こう見えてすごく遅筆なんですよ)。よほど書きたい内容だったのだなあ、と人ごとのように思ったことでした。「現地で話を聞く」「そのことを書く」ことの重要性は以前から感じていましたが、なかなか実行に移せなくて、「どの口が言うか」ってなモヤモヤをいつも抱えて探索しています。今回の記事でやっと気分が晴れました。(な)

●1年ほど前に「福島県の道路元標」という本が出ていたことを最近になって知った。こんなピンポイント、かつニッチな本が出版されたことに、まず驚いた。大判でページ数も多いので、お値段はやや高めである。図書館にも置いてあったので借りようと思ったが、なんと貸出中。私以外にも地元の道路元標に興味を持っている人がいたとはっ!嬉しいことだけど、早く読みたいから早く返してください(笑)。(つ)

REAR TYRE